

阪南市総合計画審議会における意見（第1回総合計画審議会）

■基本構想

章	節(施策)	細節	意見内容	回答・対応方針	修文
第1章 計画策定にあたって	第1節 計画策定の意義と目的		関西空港を機軸にしたまちづくりとはどのようなイメージか。	関西空港は本市から30分圏内、阪南市からも見える距離であり、市域と思え、有効に活用できる資源は、最大限活用する方針である。	なし
			関西空港に近いだけでは利用できず、どのように利用するのか具体策について基本計画で議論する。		なし、 (基本計画への書き込み、第5章第1節の観光、第5章第2節の商工業)
			1ページ18行目 「阪南市財政再建実施計画」に基づいて、歳出削減に取り組むとともに、	「阪南市財政再建実施計画」は、歳出削減だけではなく、歳入確保にも触れている。	「阪南市財政再建実施計画」に基づいて、歳入確保と歳出削減に取り組むとともに、
	第2節 計画策定の経緯				
	第3節 計画の構成と期間				
第2章 計画策定の背景	第1節 阪南市の概況	(1)位置と地勢			
		(2)まちの歴史	5ページ9行目 熊野街道沿いに	江戸期に、整備したのは「紀州街道」	紀州(熊野)街道沿いに
		(3)まちの文化			
		(4)まちの産業	6ページ 阪南ブランド十四匠についての説明を要するのではないかと指摘あり。	説明を付す	阪南ブランド十四匠の注釈を挿入
		(5)まちの生活環境			

章	節(施策)	細節	意見内容	回答・対応方針	修文
		(6)まちの人口			
	第2節 社会情勢の変化および阪南市の課題	(1)「新しい公共」の創出と地域コミュニティの再構築			
		(2)医療・福祉などの社会保障の安定化			
		(3)安全安心な生活環境の確保	11ページ 安全安心という観点から、3月11日の東日本大震災を踏まえた内容となっているのか。	東日本大震災を踏まえ、安全安心に関して検討し、総合計画に盛り込んでいる。しかしながら、大阪府等から阪南市に今後のような影響があるのかといった想定が示されていないため、基本的には南海地震を想定している。	なし
		(4)豊かで多様な学び・活動の機会の創出			
		(5)地域を活性化させる産業の育成			
		(6)快適な暮らしを支える都市基盤の維持・活用			
		(7)地域の自主性および自立性の高まり・地方分権時代の進展			
第1章 基本方針		第1節 将来の都市像		17ページ 将来の都市像の「ともに」は「市民や各種団体、事業者、市役所が協働して」とあるが、「市民」に「子ども」は含まれるのか。	本市で生活、働く、活動していただいている方々皆さん、子どもも含まれる。

章	節(施策)	細節	意見内容	回答・対応方針	修文
	第2節 将来人口				
	第3節 基本目標	(1)おもいやりとふれあいがあるまち(協働社会分野)	19ページ 列記内容の文末「が形成されています」「になっています」	協働によりまちづくりをしていくという趣旨から、客観的表現から能動的表現にする。	列記内容の文末「を形成しています」「をつくっています」
		(2)健やかに、いきいきと自立して暮らせるまち(健康・福祉分野)	19ページ 子どもに関する表現の追記が必要ではないか。	子どもの視点の表現を検討する。	基本目標2において「親が子育てと仕事の両立ができるなど、子どもが健やかに育つ環境が整い、阪南市で育った…」と変更。 併せて、総合的な地域福祉に関する文章を上位に移動。
		(3)いつまでも安全に、安心して暮らせるまち(生活環境分野)	19ページ 「快適で衛生的な生活を送っています。」とあるが、現在の下水道処理状況を考えると困難と思う。適切に処理される方策があるのか。	公共下水道の整備、下水道の認可区域外では個別の合併浄化槽を併せて推進する方針である。	なし (第3章第5節下水道、第3章第8節浄化槽の記述があり、市の方向性として、下水道普及率の向上を継続する。)
		(4)生涯にわたり学び、地域に還元できるまち(教育・生涯学習分野)	20ページ 書き出しが「学校環境のもと」となっており、学校に限定してしまっている。地域全体で子どもたちが育っていきけるようなことを的確に表せる表現が良い。	学校教育と地域教育を分けて記述するよう修正する。	基本目標4において地域教育を前面に出した文章とするため、「 <u>学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの“学び”や“育ち”を支援するとともに、園児・児童・生徒が、健康で安全な学校園環境のもと、質の高い充実した教育を受けています。</u> 」に変更(前後の文節を入れ替える)。
		(5)地域資源を活かした、にぎわいのあるまち(産業分野)			
		(6)美しい自然と調和し快適に暮らせるまち(都市基盤分野)			
		(7)持続可能な発展を支える行政経営のまち(行政経営分野)			

章	節(施策)	細節	意見内容	回答・対応方針	修文
		その他	19ページ 将来の姿を記述していることが分かりにくい ため、リード文に「10年後にこうなっている。」 といった説明を入れたほうが良い。	指摘を踏まえ修正する。	将来の都市像「ともにさかそう笑顔とお互いさまのまち 阪南」の実現に向け、次のとおり、分野ごとにめざす将来の市民の暮らしやまちの姿を7つの基本目標として定め、この実現のために施策を展開します。
	第4節 土地利用構想	(1)土地利用の基本方針	24ページ 尾崎駅前について、まちづくり協議会が解散したが、今後も尾崎駅前地区のにぎわいを創出する方針は矛盾していないか。	これまでの再開発事業は困難であると考 えているが、阪南市の玄関口として整備が必要と考える。	なし (基本計画への書き込み、第6章第5節、第6章第6節)
		(2)土地利用のゾーン設定			
		(3)地域資源を活かした地域振興構想			
第2章 計画の推進にあたって	第1節 協働によるまちづくり				
	第2節 行政経営のしくみづくり				